

編集後記

新緑薫る五月、四季の移り変わりの中でも最も生命感あふれる時節柄となりました。新任の職員も落ち着いて本誌に眼を移しているのではないのでしょうか。本誌今月号は、日頃治療を通じて用いられている治療器具にスポットを当てて、特集を組みました。治療対象によっても相違点が見られることから、小児、成人の両分野からそれぞれPT・OTの方に、また精神科分野からはOTの方に御登壇願いました。「小児」のPT分野について、神奈川県こども医療センターの東野智郁氏・他に、またOT分野では脳性麻痺児を対象に、ボバース記念病院の森田早紀子氏に、「成人」のPT分野を近森病院沖 廣剛氏に、「成人」のOT分野についてアンケート調査結果を基に埼玉県障害者リハビリセンター佐藤 章氏・他に、「精神科」分野については、大阪府立中宮病院田中三雄氏・他に執筆して戴きました。

OT・PT室の治療器具を一度全部外に出して必要なものから、部屋に再収納していけば、どれくらい不必要なものが残るで

しょうか。一度この機会に頭の中で考え、見直して戴ければ、企画担当として幸いです。

特集が5本に加えて、講座が2本連載され予定の紙面が一杯で、投稿原稿の分が次号へまわってしまいました。

最近の原稿にも、ワードプロセッサ利用のものが見られ、新しい波がおしよせている感があります。とかく医療人はメカや電気に弱いと言われて来ましたが、今や民生機器に至るまでマイクロプロセッサなるものが入り込み、幅をきかせる時代になり、逃げ廻ってもおれなくなりました。

本誌も20年目を迎え、幅広い読者に支えられておりますが、日進月歩の世にあって常にフレッシュで魅力的でありたいと願っています。それには読者の意見がフィードバックされることが何よりと考えております。何かにつけて、本誌編集室あて御意見をお寄せ下さいませよう紙面を借りて、お願い致します。

(大喜多 潤)

理学療法と作業療法

(第20巻 第5号)

1986年5月15日発行(毎月1回15日発行)

1 部定価 1,250 円(配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 15,350円)
(ただし、特別増大号を含む)
(送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院

代表者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5703

(担当: 西塚・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

広告室直通 (03) 817-5696

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 株式会社印刷 電話(03)814-4961

広告申込所 株式会社広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1986,

Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短大

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーションクリニック 高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短大

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子